

社会学委員会 東日本大震災後の社会的モニタリングと復興の課題検討分科会
(第24期・第12回) 議事要旨

1. 日時 2020年8月26日(水) 10時00分～12時30分

2. 会場 オンライン(ZOOM)

3. 出席者:

吉原直樹、岩井紀子、山下祐介、町村敬志、岩渕明、増田聡、山川充夫、青柳みどり、
玉野和志、島菌進

1. 第11回議事録の承認

1) 議事録は承認された。

2. 本分科会からの『提言』について

*8月13日に開催された幹事会でのヒアリング結果と、それに対応する修正について、委員長および幹事より説明を行った。結果として、『報告』で提出していたが、『提言』として修正し、公表することとした。なお、公表にあたっては事前に幹事会および会長による内容の確認が必要となる。

*今回の分科会では、『提言』として提出するために修正した本文について議論、承認いただきたい。→事前に回覧した『提言』案に対する修正、および同時に提出するチェックシート等について全員による議論、修正を経て承認された。

3. 本分科会の次期以降の方針について

*本分科会の立ち位置、他の分科会や委員会での議論との関係を鑑みて、次期についても分科会の継続を要望することとした。

*議論の方向性として、「透明性」「専門知」、コロナとの関係など様々な論点がだされたが、基本的には次期の世話人等との相談とすることとなった。

4. その他

1) 日本学術会議主催学術フォーラム・第11回防災学術連携シンポジウム(2021年1月開催予定)での本分科会からの発表について

*発表申込済。

2) 学術の動向(2021年3月号)への執筆依頼について

*分科会の提言について寄稿することとした。

3) その他

*本提言が公表された際には、プレスリリースを行うこととなった。現在はコロナ対応で学術会議としてのプレス・コンファレンスは実施していないため、分科会としてオンラインを利用した方法など検討して実施することになった。

(以上)